

さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業
オープンデータで豊かな社会を事業
実施に関する協働協定書

Code for SAITAMA（以下「甲」という。）とさいたま市（以下「乙」という。）は、さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業（以下「推進助成事業」という。）の実施にあたり、推進助成事業の目的及び目標、推進助成事業における役割分担、責任の範囲及び成果の帰属並びに推進助成事業の評価について、次の条項により協定を締結する。

（目的及び目標）

- 第1条 推進助成事業は、さいたま市が提供するオープンデータを活用することにより、市民が主体的に関わることが出来るプラットフォームを構築し「ともに考えともにつくる」まちづくりを目的として、甲と乙が協働して実施する。
- 2 甲と乙は、前項の目的を達成するために、推進助成事業における目標を次のとおり設定する。
- (1) 市民目線でのオープンデータの利用方法を自ら考え自ら創る機会を提供し、安全安心で豊かな生活に寄与する活動を行うこと。
 - (2) 市民活動団体や他の関連団体との協働で事業を開催し、団体と団体及び市民の交流の場として各々に共通するテーマに協力し合えるネットワークの構築、ネットワークと行政との連携を広げていくこと。

（相互理解と対等の原則）

- 第2条 甲と乙は、双方の能力・立場・特性を理解して、お互いの存在を尊重し、協力するとともに、お互いに不足する部分を補うことにより、推進助成事業を実施する。
- 2 甲と乙は、双方が対等なパートナーであることを常に認識し、各々の自由な意思に基づいて協働することを前提に、推進助成事業を実施する。

（役割分担）

- 第3条 甲と乙は、第1条の目的及び目標を達成するため、推進助成事業におけるそれぞれの役割を次のとおり定める。

事業項目	甲の役割	乙の役割
(1)事業 PR	1. 各メディアへの掲載依頼 2. チラシ配布（各団体・公共施設等） 3. サポートセンターを利用したの PR 4. ホームページでの PR	1. 市報・区報等、市発行媒体による PR 2. 県、周辺市町村等、事業に関連する行政機関による PR の依頼 3. ホームページでの PR
(2)事業実施準備	1. 参加団体の募集 2. 実行委員会の運営・資料作成 3. 事業に関連する企業・団体への協力・参加依頼 4. 全参加団体との連絡調整 5. チラシ作成 6. 会場確保 7. 出展団体配置検討・配置図作成 8. 事業全般タイムスケジュール作成 9. 事業実施内容の検討 10. 市民のボランティア募集 11. 参加ボランティアの役割分担とマニュアル作成 12. 景品提供依頼 13. 会場安全確保	1. 関係する所管への参加依頼 2. 関係する所管との連絡調整 3. 市関係団体との連絡調整 4. 県、周辺市町村等、事業に関連する行政機関への協力依頼 5. 会場確保協力 6. 事業実施内容の検討 7. 景品提供依頼協力
(3)事業実施	1. 事業全般にかかる運営 2. 報告書の作成	1. 市の施策等の紹介 2. 出展団体との調整

（責任の範囲及び成果の帰属）

第4条 推進助成事業における責任の範囲及び成果の帰属は次のとおりとする。
 ただし、甲又は乙の各々に既に帰属している成果は除くものとする。

(1) 甲の責任の範囲及び成果の帰属

- ア 協定書に基づく事業の履行
- イ 推進助成事業を通じて得る新たな活動ノウハウ
- ウ この事業で得る成果物

(2) 乙の責任の範囲及び成果の帰属

- ア 協定書に基づく事業の履行
- イ 推進助成事業を通じて得る新たな活動ノウハウ

(情報公開と説明責任)

第5条 甲と乙は、推進助成事業の透明性を確保するため、推進助成事業の実施状況に関する情報を公開する。また、双方が推進助成事業に関する説明責任を果たすこととする。

(事業の評価と報告)

第6条 甲と乙は、推進助成事業の自己評価を行い、お互いの評価を共有した上で、推進助成事業終了後の事業のあり方について真摯に協議するものとする。推進助成事業終了後、報告会において事業の成果及び評価並びに協議内容について報告するものとする。

(協定の有効期間)

第7条 この協定書の有効期間は、協定書の締結の日から推進助成事業の報告会の日をもって終了するものとする。

(その他)

第8条 この協定に定めのない事項及びこの協定に関し疑義が生じたときは、甲乙協議して定める。

本協定の証として、本書を2通作成し、甲乙記名押印のうえ各自一通を保有する。

平成27年 月 日

熊谷市万吉1700
立正大学地球環境科学部環境システム学科
甲 後藤研究室気付
Code for SAITAMA
代表 後藤 真太郎

さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
乙 さいたま市
さいたま市長 清水 勇人